

西部地域支え合い 協議会だより



令和3年10月1日発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 小川 光昭
鶴ヶ島市西市民センター1階
☎・fax 049-214-4005

鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画（案）の概要

会長 小川 光昭

市の公共施設の多くが近い将来更新の時期を迎え、少子化と急速な高齢化により公共施設に求められる姿も時代とともに変化してきており、解決すべき大きな問題です。

市の公共施設は、今後30年間で約625億円の維持管理経費が必要になります。

これを踏まえ、公共施設の統廃合による再配置を行い、公共施設における市民サービスを将来にわたり継続させることを目的とした30年間の計画が作成されました。

今回は、この内容を簡単にご説明します。

実施計画（案）の概要

- 市民利用を考えた再配置
 - ・ 市民センター等の再配置は、避難施設機能を維持し、市民の身近な中心施設で残す。
 - ・ 小・中学校の再編は、今後の児童・生徒数の推移や学級数等より良好な環境を整備。
- 廃止施設の有効活用
 - ・ 公共施設の配置や学校再編にて廃止とした施設は、措置の売却だけでなく、施設の移転や再利用など有効活用を図る。
 - ・ 再編統合される学校の体育館は、災害時の避難所と地域の体育施設として再利用。
- 公共施設の維持と財源
 - ・ 将来にわたって公共施設を維持するため再配置や資産運用などにより限られた私有財産を最大限に活用し、施設を長寿命化することによって経費の圧縮を図り、公共施設の維持に必要な財源を確保する。



西部地域の公共施設再配置計画

- ・ 新町小学校→統廃合なし。
- ・ 西中学校→令和12年度までに廃止・鶴ヶ島中学校へ統合、建物は機能変更して残る。
- ・ 西市民センター→再配置等なし。



ありがとう券支援店ステッカーの紹介

助け合い隊コーディネーター 小川 花子

このほど鶴ヶ島市は、助け合い隊ありがとう券をより使いやすくするため、全協議会共通のステッカーを作成しました。西部地域支え合い協議会では、順次各店舗に配布していきます。

このステッカーの特徴は、

- ・ 店舗の外側から、または代金を払うレジで支援店であることが一目で分かります。
- ・ 全協議会共通のため、他の協議会の担当エリアのお店でも、すぐに分かります。
- ・ デザインは、現在の「ありがとう券」に使われているハートのマーク。薄いピンク色の背景です。
- ・ 他のステッカーと、同じくらいの大きさとで8センチ四方。（ステッカーの実物大の、カラーイラストは、次のページに掲載してあります。）
- ・ QRコードが付いているので、全支援店が読み取れます。

これを機会に、ぜひ、ありがとう券支援店を利用し、鶴ヶ島市の発展に役立ててほしいと思います。



今月号では、我々西部地域支え合い協議会の活動の拠点で、いつもお世話になっている西市民センターの紹介をさせていただきたいと思います。センター内には、協議会の事務所もあり、市との窓口にもなっており、また、市民の皆様との連絡もお願いしており、我々にはなくてはならない存在です。センター所長の安野修司さんにお話を伺いました。

西市民センターの紹介

鶴ヶ島市西市民センター所長 安野 修司

日頃より西市民センターをご利用いただきありがとうございます。

西市民センターは、安野・鈴木・田中・西澤の4人で窓口対応や各種事業の実施、維持管理などを行っております。また、地域の課題などの相談も受けておりますので、お気軽にご相談ください。

ここで、西市民センター事業の一部を紹介させていただきたいと思います。

◆健康づくり事業

【ラジオ体操】祝日を除く火曜日から土曜日の朝9時より（雨天中止）、西市民センター野外広場において、地域の皆さんと一緒に「ラジオ体操」を行っております。どなたでも、ご参加ください。

【朝のウォーキング】毎月第4土曜日のラジオ体操終了後に、みんなで一緒に1時間程度の「朝のウォーキング」を行っています。普段、自分では歩かないコースを歩くことで新しい鶴ヶ島の魅力を発見できるかもしれません。健康づくりの一環として、ぜひご参加ください。

◆西部地域支え合い協議会との共催事業

【地域課題の解決に向けた講座】西市民センターでは、西部地域支え合い協議会との共催事業として、地域課題解決に向けた講座を行っております。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業を見合わせておりますが、一昨年は、障子・網戸の張替講座や植木の剪定講座、男の料理教室などを行いました。今後は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きましたら、西部地域支え合い協議会と協議し再開していきたいと思っております。講座を実施する際には、チラシ等によりお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

◆終わりに

西市民センターは、地域の拠点施設ですので、地域の皆様とは触れ合う機会が多いと思っておりますので、今後とも西市民センターをよろしく願いいたします。

鶴ヶ島市新町 4-17-8 ☎049-286-7899



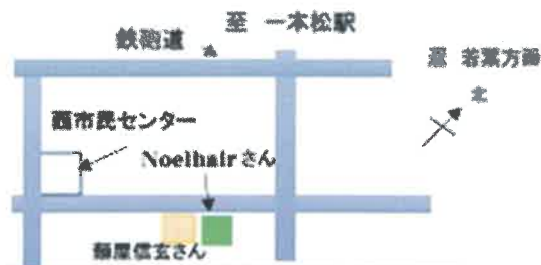
鈴木さん センター所長の安野さん

前ページで紹介した「ありがとう券支援店ステッカー」の見本です。実物大です。



ありがとう券支援店紹介

今回は、「麺屋 信玄」さんと「Noëlhair」さんを紹介させていただきます。私たちの地域では飲食店がたくさん協力してくれているのを改めて感じました。まだまだ続きますので楽しみに！



本格らーめん店「麺屋 信玄」

新町 3-1-21 ☎049-271-2700

2006年の春に開店してから早15年、その間ご愛顧を頂きまして有難うございます。

当店は**化学調味料を一切使わず**全ての商品を提供していますのでお子様からお年寄りまで、安心して食して頂けます。

特徴と致しましては、和風スープ、豚骨スープ、鶏スープのスープを駆使しメニューを提供しています。麺は国産小麦100%の自家製麺で小麦の味、香りを楽しんで頂けます。

代表的なメニューはさっぱりとした昔ながらの「和風らーめん」、太麺も御座います。ガッツリ系の「らーめん勘助」、肉野菜炒めがどっさりトッピングされています。「つけ麺」、「カレーつけ麺」、「カレーらーめん」、「塩らーめん由布姫」等。ご飯のメニューも「チャーシュー丼」「肉めし」など、多数のメニューがございますので、必ずお気に入りのメニューが見つかると思います。ご来店をお待ちしております。

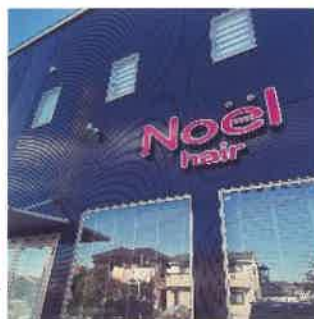
(定休日：木曜日&第3水曜日 業時間 昼 11:30~15:00 夜 18:00~21:00 火&水曜日は昼のみ営業。)



← 信玄さんです。



Noëlhair さんです。 →



美容室 「Noëlhair」

新町 3-1-27 ☎049-285-7777

こんにちは！新町にある美容室 Noëlhair (ノエルヘアー) です。

お店のコンセプトは『心地よい空間。おもてなしの心。すべてはお客様のために。』カットをする。カラーリングをする。パーマをかける。これって美容室として至極当然のこと。それプラスαで『何か』喜んで頂けるモノ・コトを常に求め続けて行こう！と常に心に刻んでいます。

『場』としての Noëlhair

例えば・椅子の座り心地がいい・流れている曲が気持ちいい・綺麗な映像が癒される・・・どんな小さなことでも Noëlhair に来てくださるお客様が『あっ！なんかここいいな〜』と思って頂けるお店にしたかったんです。

『人と人との繋がり』の美容室

美容室って稀にみる人と人が身近な関係性の空間です。お客様との会話の中で実は『髪』のことよりもプライベートな悩みや相談を受けたりすることが多かったです。カウンセラーではないので(汗)何かを解決したりはできませんが、お話を聞くことはできます。人って誰かに話を聞いてもらうだけでも気持ちがとても落ち着くものです。そんな役割も私たちの出来ることだと考えております。人と人との繋がりも大切にしたい。Noëlhair はそんな想いのお店です。

(ホームページ <https://www.noelhair.com/> 定休日 毎週月曜日、第2第3火曜日)

西部地域歴史散策

-鶴ヶ島の地名の由来-

前回の歴史散策を読まれた方から、「そもそも、関東平野の真ん中なのに、鶴ヶ島という水辺のような地名で呼ばれるのはなぜですか?」という質問を受けました。今回は、その由来を調べてみたいと思います。

まず、分かったのは、「鶴なんとか町」と「なんとか島町」が合併して鶴ヶ島市になったのではなく、1889年(明治22年)4月1日 - 町村制施行に伴い、上広谷村連合を構成する14村をもって高麗郡鶴ヶ島村が成立し、つづいて、1966年(昭和41年)4月1日 - 町制施行により、入間郡鶴ヶ島町となり、1991年(平成3年)9月1日に、鶴ヶ島市が誕生しました。(今年で30年になります。)

おおよそ500年ほど前、上杉家の家臣太田道灌が川越城を築いた長禄元年(1457)頃の伝承によれば、当時このあたりは泥深い湿田に取り囲まれ、四周の台地には、人家は一軒もなく、うっそうと雑木が生い茂っていたということです。雷電池はずっと広く、そこから湧き出る清水が幾筋もの細流となって取り巻き、このあたり一帯を芦荻(あしおぎ)生い茂る沼沢地に使っていたとされています。

鶴ヶ島の地名は、昔話風になりますが、この湿った地面が広がる林の真ん中に、小高い島があったそうで、その島に男松と女松と呼ばれていた二本の松が立っていました。ある日、鶴がやってきて、この松に鶴が巣ごもりをしました。やがて、ひなは大きくなって大空に羽ばたいていきました。これを見た村人は、縁起が良いということでこの地を「鶴がいた島」、「鶴ヶ島」と名付けたのだと伝えられています。

実は、この伝承が、石碑になって今も残されているのです。国道407号沿いの関越道鶴ヶ島I.C.の入口北側に、東松山方向に北上すると右側になりますが、いくつかカーディーラーが並んでいる場所があります。その一つマツダの店舗横に大きな松の木と「鶴ヶ島市指定史跡」という白い標柱があり、それらとならんで発祥碑が建っています。西入間警察署の少し手前です。

近年、この付近は、国道407号、関越自動車道、圏央道が整備され、区画整理のために周囲が埋め立てられ、昔の面影をしのぶ姿はもうすっかりなくなってしまいました。しかしこの碑は、市に残る数少ない史跡であり、特に「鶴ヶ島」発祥の地でもありますので、遠い祖先から今日まで大切に保存してきた多くの人々と同じ気持ちで、未来に伝えていきたいものです。



鶴ヶ島市章

:「ツ」「ル」の文字を組み合わせ、図案化しました。丸く広げた鶴の両翼に市の団結と発展を象徴しています。昭和40年、全国からの公募により制定されました。



「鶴ヶ島」発祥の地記念碑

平成3年9月1日 鶴ヶ島市指定史跡
(昭和49年11月指定)



赤い丸印の辺りに「鶴ヶ島」発祥の地記念碑があります。